



# おおみなみ



令和2年9月1日 学校だより No.6 児童数572名 家庭数456

校長 檜垣 盛喜

## 「すてきな学校」

夏休みに入った途端に梅雨が明け、毎日気温が高い日が続いていました。新型コロナウイルスへの対応と並行して熱中症への対応も取りながらの夏休みになりました。例年とは違う「特別の夏」を各家庭で過ごし大変だったと思います。あの年は、こうだったと早く振り返ることができる安心・安全な日々が訪れることを願っているところです。

8月24日の始業式の日には、子供たちが元気な姿で学校に戻ってきました。夏休みは例年より短い3週間でしたが、久しぶりに会った子供たちの中には、身長が伸びたり、大人っぽい顔つきになったりしていた子もいました。短い期間でも成長を感じました。

始業式では、「すきな学校」に「て」を入れて「すてきな学校」にしていきたいと思いますという話をしました。国語辞典では、「手を入れる」とは、「よい状態にするために、補ったり、直したりすること。手を加える。」と表現されています。1学期の終業式では、1年生から6年生の各学年が頑張ったことや成長してきたことを褒めました。そして、学校全体として成長したところとして「挨拶」を挙げました。校長として着任して3年、毎朝校門で子供たちを迎えています。子供たちの挨拶がとてよくなっています。「自分から先に挨拶できる」「人の目を見て挨拶できる」「笑顔で挨拶できる」そのような子が増えました。大南小のすてきなところ。継続した教職員の指導や家庭のしつけ等で手を入れてきたことで変容が見られてきました。また、学区内を歩いていると、保護者や地域の方からもよく挨拶されます。とてもすてきな学校、地域だと感じます。他にも、「昇降口の靴がきれいに靴箱に入っている。」「雨の日の傘立てへの入れ方がきれい。」「廊下の物掛けから袋が落ちていない。」等、よくなってきたところがあります。大南小で過ごしている572人により、このようなすてきな風景が作り出されています。

さらに、すてきな学校にするためには、どのようなことができるでしょうか。それは、当たり前のことを当たり前です。挨拶にしても、靴の入れ方、物の整頓もそうです。当たり前のことやすることで環境が整い、人の気持ちが落ち着き穏やかにもなります。困っている人がいたら声をかけたり、手伝ってあげたりする。これも当たり前のことです。学級で分からないで困っている人がいると「どうしたの?」「一緒に考えてみようか。」などと「教え合い」「助け合い」が自然にできる。相手のことを考え、寄り添い、一緒に成長していくことを喜べる友達がいるというような温かい、思いやりのある人との関わり方ができる。そのような当たり前の行動が、さらにすてきな学校にしていくのだと思います。

全ての教育活動の中で、子供たちに様々なことを教え、伝えることで手を入れながら、大南小をさらにすてきな学校にしていきたいと思えます。

今学期も、保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

9月の生活目標

工夫して生活しよう。

## 『校内研究について』

研究推進委員長 廣幡 繭子

今年度、本校では、研究主題「想像力を広げ、思いを込めてかく児童の育成～物語を中心とした読書活動を通して～」を掲げ、研究を進めています。今年度、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、授業の中でも友達との教え合いや意見交流、対話的な活動に制限があります。また、家庭でも、外出することが減り、家で過ごす時間が増えたことと思います。その中で「本は楽しい!」と思えることは、子供たちの一つの楽しみや息抜きになってくれると思います。本は、想像力を広げさせてくれるだけでなく、多くの語彙を習得したり、様々な人がいることを知り、思いやりの心を育ててくれたり、様々な世界があることを知り、夢を広げてくれたりするものでしょう。しかし、「本を開かない。」「漫画ばかり読んでしまう。」「学年相応の本を選ばない。」等、本の世界になかなか興味を示さない子がいることも現状としてあります。「どうしたら本の楽しさを伝えられるのか。」という第一歩として、教員による読み聞かせを取り入れています。低・中学年の絵本の読み聞かせはもちろん、高学年も短編集等を読み聞かせると子供たちは静かに耳を傾ける姿が見られます。このように読書の時間を大切にしながら、併せて2年生(12月)、4年生(9月)、5年生(11月)による研究授業を行います。子供たちが多くの本に触れ合い、「感じたこと」「想像したこと」を自分の思いを込めてかくことができるように、手立てを考え、指導していきたいと思ひます。ぜひ、ご家庭でも、お子さんと本を広げて、本の世界

## 『6年生の活動』

6年担任

「6年生になったら大南小のリーダーとして活躍したい。」「1年生のお世話を頑張りたい。」「小学校最後の運動会、学芸会、移動教室を楽しみたい。」といろいろ思い描いていたことができなくなりました。もちろん残念な気持ちはありますが、このような中でも6年生は、今、できることは何か。どのようなやり方ならできるか。と前を向きな歩みを進めています。

その1： 毎日の学校生活での言動、毎時間の学習への取り組み方について6年生としてどうあるべきかをみんなで見直し、一人ひとりが心に刻み実践しています。その姿こそが、下級生へのお手本となり、また、大南小のリーダーとして成長していくことと信じています。

その2： 1学期の総合的な学習では、「あく手プロジェクト～1年生にそうじの仕方を伝えよう～」に取り組みました。例年の6年生のように、1年生の教室をそうじしてあげられない。では、どうするか。何が出来るか。動画、ポスター、クイズ、スタンプラリー、実践など みんなで知恵を絞り、実行委員がまとめ、チームに分かれて準備をしてきました。「1年生に分かりやすくね!」「楽しくそうじができるようにしよう!」と優しさで真剣さが伝わってきました。

今年の6年生は、自分達で課題を見出し、協力してやり抜く力を身に付けて、JUMP UP します!!

## 9月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
			内科検診 (2・6年)	安全指導③ 保護者会3・5年 交通安全教室1年	情報モラル	
6	7	8	9	10	11	12
	全校朝会 委員会②			保護者会1・4年		土曜授業 避難訓練 (防災学習) 2・3校時公開授業
13	14	15	16	17	18	19
	クラブ②	ハッピーみなみ① 保護者会2・6年	校内研究のため 午前授業 内科検診1年	(集会)	心臓病検診 (1年該当者)	
20	21	22	23	24	25	26
	敬老の日	秋分の日	内科検診 (3・4年)	(音楽朝会)		土曜授業 2・3校時公開授業
27	28	29	30	10/1	10/2	10/3
	全校朝会 クラブ③ 教育実習～	(集会)	内科検診5年			